

全世代第4回フォーラムが5月27日（土）、早稲田大学アジア太平洋研究センターと共催し東京・早稲田大学キャンパスで開催されました。今回は《若者は『日本の不定芽』（FUTEIGA)か》をメインテーマに高津晶代表理事、大学院生の北野芳英さんらが企画、運営しました。お陰様で総勢80名以上の参加者のうち約30名が若者。これまでの全世代フォーラムには見られない若年層の姿が多く新たな全世代活動として期待しています。

フォーラム冒頭には、石濱人樹代表理事と浅井麻紀理事より待機児童解消プロジェクトについて報告を行いました。次回のフォーラムは11月11日（土）。半年も先ですが、テイクノートしていただければ、うれしいです。

（このメールマガジンは会員はじめ、私たちの活動にご理解、ご支援を期待する皆さまへお送りしています）

▼今号の内容

- <1> 第4回フォーラム<若者は『日本の不定芽』か>
- <2>クラウドファンディング報告
- <3>声明文採択
- <4>理事会・社員総会も開催 宇井新理事を選任
- <5>事務局から

| <1> 第4回フォーラム<若者は『日本の不定芽』か>

『日本の不定芽』研究プロジェクトの一環として、ロフトワーク代表取締役の林千晶さんをゲストにお迎えし、ご自身の人生経験からお話をいただきました。学生時代からの友人でもある高津代表理事がモデレーターとなつてのトークセッション。それぞれの個人は異なる価値観を持つ「不定芽」であつて、熱意や意志に従つて生きることが大切だとおっしゃる林さんの目が輝いていたのが印象的です。飾らない林さんが素敵でした。

参加者とともに行ったオープン座談会では、前半は「若者は『日本の不定芽』か?」、後半は「若者が活躍できる社会とは?」をテーマにトークを行い、若者から多様な意見がでました。

後半は経済産業省の「次官・若手プロジェクト」の資料『不安な個人、立ちすくむ国家』作

成メンバーの産業人材政策室室長補佐の藤岡雅美さんを中心に、「不安」の正体と、若者はなぜ頑張れないのかについて話し合いました。

議論の結論は出ませんでした。が、「安定」に安住している若者もいる一方で、環境的制約により生活の「安定」を欠いている若者もあり、一概に「若者は頑張りが足りない」とは言えないことが明確になりました。

その上で、その両者が自己実現できる社会になることを目指し、経産省の同プロジェクトとも今後何らかの形で議論を深めていく方針が示されました。（司会の西山友梨）

| < 2 >クラウドファンディング報告

JOB 分科会が取り組んだ「待機児童を減らすための病院内保育所の解放」事業におけるクラウドファンディングで、350人の個人、25の団体から合計1243万円の支援を得て目標を達成したことが報告されました。

| < 3 > 声明文採択

声明文

平成 29 年 5 月 27 日（土）早稲田大学 3 号館にて開催された

第 4 回 NPO「全世代」フォーラムの参加者は【若者は日本の不定芽か？】

の大テーマのもと、「日本の不定芽研究プロジェクト」として

1. 林千晶さんをゲストに招いた トークセッション（日本の不定芽人物研究）
2. 「若者は日本の不定芽か？」 「若者が活躍できる社会とは？」について、若者と大人が議論するオープン座談会

3、NPO 全世代活動報告

を行い、以下の点について合意した。

【1】 トークセッション：日本の不定芽人物研究

林千晶さんと高津晶さんのトークセッションの中で、「若い人の行動は、世間でしばしば言われている言葉に沿って行われるものではなく、自分の中から自然に湧いてくる熱や意志を追いかけるものであってほしい」という話があった。

【2】 オープン座談会：若者は日本の不定芽か？

では、若者と大人のクロストークを通して、大人とは異なる若者の意識・マインドが明らかになった。

また、経産省の次官・若手プロジェクトの資料について、経産省の若手職員を交えて議論を行い、「若者が活躍する社会とは何か」「どうすれば若者が活躍できるのか」について話し合った。

以上の議論から、意志を持つ若者の芽が花咲くように、生きる力をつける教養講座を開催することや、幅広い若者から意見を集め、個のマインドを把握するとともに、それらを社会システム変革のために活用し、今後、経産省と連携して若者が活躍できる社会について議論を深めていくこと。

【3】待機児童解消プロジェクトは達成したクラウドファンディングによる資金を基にモデルケースを選定し、病院内保育所の地域開放の実現に向けて全力をあげること。

【4】医師の地理的偏在是正については公表した提案を国がどう活用していくのか、注視していくこと。

【5】以上の項目について、平成29年11月11日（土）に予定されている第5回NPO全世代フォーラムにおいて進捗状況を報告すること。

平成29年5月27日

| < 4 > 理事会・社員総会も開催 宇井新理事を選任

フォーラムに先立って、第8回理事会、平成29年度、社員総会が開かれました。

平成28年度事業報告及び決算報告、平成29年度事業計画及び収支予算が原案通り承認。また理事会で宇井睦氏が新理事に選任されました。宇井さんは35歳の医師で、「総合診療・緩和ケアを軸にして医療と人間に関わるとともに政策提言や若者支援に行っていきます」と話しています。

| < 5 > 事務局から

事務局のメンバーで、中心的にファンドレイジングに奮闘した理事の浅井麻紀さんが今月、米ロスアンゼルスに引っ越されます。浅井さんよりメッセージが寄せられました。

「この度、海外転勤の為暫くの間日本を離れることになりました。日々の活動およびReadyf or 待機児童に関するファンドレイジングでは沢山の皆様にご協力頂き、誠にありがとうございました。これからも全ての世代が力を合わせて暮らす社会が築けるよう、引き続き皆さまのご理解、そして「NPO 法人全世代」へのご関心の継続をお願い申し上げますと共に、ご挨拶

とさせていただきます。 浅井麻紀」



★世代間連携による構想提言で社会へ働きかける「全世代」★

NPO「全世代」事務局

東京都千代田区九段南4-8-32 東京顕微鏡院ビル 1階

Tel 03-3511-5233

メール窓口 jim@zensedai.org

ホームページ <http://zensedai.org/>

